



10月 熊本市 感染症発生動向調査 速報



●インフルエンザが先々週から流行期に入っています●

感染症発生動向調査で、熊本市の第43週（10月21日～10月27日）の定点医療機関あたりの患者報告数は、1.28人（定点数25ヶ所、患者報告数32人）となり国が流行の目安としている1.0人を先々週から超えています。先々週から、急激に増加はしていませんが、感染予防に努めましょう。



警報・注意報発生システムとは

厚生労働省・感染症サーベイランス事業により、全国約5,000のインフルエンザ定点医療機関（熊本市では25医療機関）を受診したインフルエンザ患者数が週ごとに把握されています。過去の患者発生状況をもとに基準値を設け、保健所ごとにその基準値を超えると注意報や警報が発生する仕組みになっています。

流行開始

1週間の定点あたり報告数が流行開始の目安（定点あたり1人）を超えると流行が始まり、目安を下回ると終息となります。

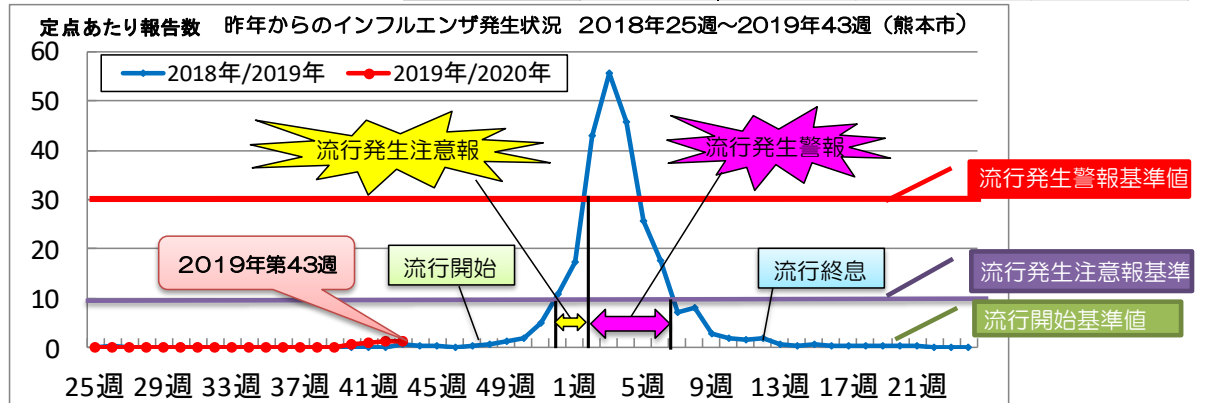
流行発生注意報

流行の発生前であれば、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があるということ、流行の発生後であれば流行が継続している（終息していない）可能性が疑われることです。1週間の定点あたり報告数が基準値（定点あたり10人）以上で発令となります。

流行発生警報

大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。1週間の定点あたり報告数が開始基準値（定点あたり30人）以上で発令し、継続基準値（定点あたり10人）を下回ると解除となります。

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報	流行開始
	開始基準値	継続基準値	基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10	1



期 間		2019年 42週		2019年 43週	
		10/14～10/20		10/21～10/27（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	流行入り	31	1.24	32	1.28
RSウイルス感染症	↓	9	0.56	4	0.25
咽頭結膜熱（プール熱）	↓	12	0.75	9	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	26	1.63	13	0.81
感染性胃腸炎	↓	79	4.94	68	4.25
水痘（みずぼうそう）	↓	3	0.19	1	0.06
手足口病	↓	13	0.81	24	1.50
伝染性紅斑（りんご病）	⚠	20	1.25	23	1.44
突発性発しん	↓	6	0.38	11	0.69
ヘルパンギーナ	↓	4	0.25	1	0.06
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	↓	2	0.13	0	0.00
急性出血性結膜炎	↓	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）	↓	12	2.40	17	3.40
細菌性髄膜炎	↓	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	↓	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	↓	0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	↓	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	↓	0	0.00	0	0.00